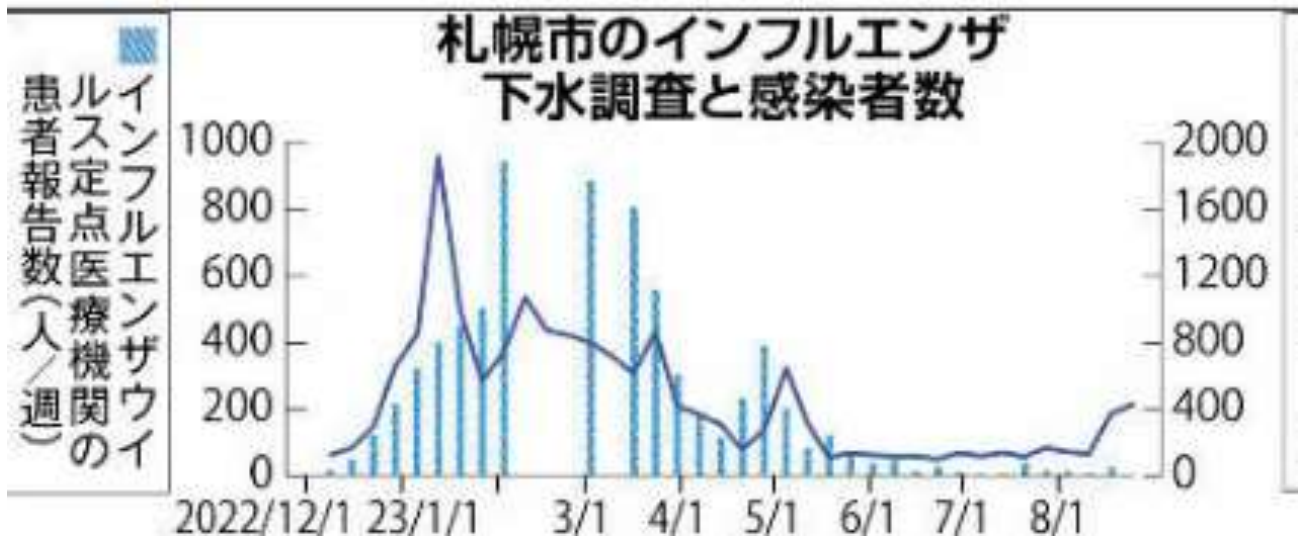


札幌の新型コロナ下水調査 「8波」並みの水準 インフルも増加 市が警戒呼び掛け

2023/08/30 北海道新聞

札幌市は29日、下水に含まれるウイルス量を調べる疫学調査「下水サーベイランス」の21～27日の結果を公表した。新型コロナウイルスの濃度は前週とほぼ同じ1リットル当たり6万コピー（コピーは単位）だったが、年末年始の流行「第8波」並みの高い水準が続いており、市は「引き続き警戒を」と呼び掛けている。

6万コピーに達するのは昨年11月以来だった前週（6万700コピー）に続き2週連続となった。また、14～20日の市内1医療機関当たりの平均患者数は前週比9・09人増の20・50人と新型コロナの感染症法上の位置付けが5類になってから最多を更新している。



札幌市のインフルエンザ下水調査と感染者数

市はインフルエンザウイルスの下水調査の結果も公表し、21～27日は前週比1・1倍の429コピーだった。14～20日の1医療機関当たりの平均患者数は0・46人で、注意報の発令基準である10人以上には達していないものの、インフルエンザウイルス濃度が夏場上がるのは珍しいという。

市保健所は厳しい暑さが続き、冷房のため室内を閉め切る人が多いとみており、手洗いやうがいだけでなく「できるだけこまめに換気をしてほしい」と呼び掛けている。

